

事業報告書

自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日

社会福祉法人 西春福社会

1.法人運営の状況

(1)理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

令和5年6月6日(火)

出席者	理事	阿部久邇夫 長岩嘉文 水野高作 横手政孝 岡部憲子
	監事	高柳利清 橋本俊也
	事務局	山田雅貴

付議事項	<ul style="list-style-type: none">令和4年度社会福祉法人西春福社会事業報告について令和4年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支決算について社会福祉法人西春福社会定時評議員会について理事長の職務執行状況について
------	--

令和5年6月27日(火)

出席者	理事	阿部久邇夫 水野高作 横手政孝 大森慎円 岡部憲子
	監事	橋本俊也 井上邦勝
	事務局	山田雅貴
欠席者	理事	長岩嘉文

付議事項	<ul style="list-style-type: none">社会福祉法人西春福社会理事長の選任について社会福祉法人西春福社会評議員選任・解任委員の選任について
------	--

令和5年11月30日(木)

出席者	理事	阿部久邇夫 長岩嘉文 水野高作 横手政孝 大森慎円 岡部憲子
	監事	橋本俊也 井上邦勝
	事務局	山田雅貴

付議事項	<ul style="list-style-type: none">社会福祉法人西春福社会職員給与規程の改正について理事長の職務執行状況について
------	---

令和6年3月13日(水)

出席者	理事	阿部久邇夫 長岩嘉文 水野高作 横手政孝 大森慎円 岡部憲子
	監事	井上邦勝
	事務局	山田雅貴
欠席者	監事	橋本俊也

- 付議事項
- ・ 令和6年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業計画(案)について
 - ・ 令和6年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支予算(案)について
 - ・ 社会福祉法人西春福祉会第2回評議員会について
 - ・ 役員賠償責任保険について

(2) 評議員会の開催

評議員会を次のとおり開催した。

令和5年6月27日(火)

出席者	評議員	青木勲男	入江徹男	酒井知子	檜吉真壽
		福井昌子	堀場金幸	森川妙子	
	理事長	阿部久邇夫			
	監事	高柳利清	橋本俊也		
	事務局	岡部憲子	山田雅貴		

- 付議事項
- ・ 令和4年度社会福祉法人西春福祉会事業報告について
 - ・ 令和4年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支決算について
 - ・ 社会福祉法人西春福祉会役員の選任について
 - ・ 社会福祉法人西春福祉会役員報酬規程の改正について

令和6年3月26日(火)

出席者	評議員	青木勲男	入江徹男	酒井知子	檜吉真壽
		福井昌子	堀場金幸	森川妙子	
	理事長	阿部久邇夫			
	監事	橋本俊也	井上邦勝		
	事務局	岡部憲子	山田雅貴		

- 付議事項
- ・ 令和6年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業計画(案)について
 - ・ 令和6年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支予算(案)について

(3) 監事による監査

- ・ 令和5年5月19日(金)、高柳利清・橋本俊也両監事により、令和4年度社会福祉法人西春福祉会 事業報告・決算及び関連事項について監査を受けた。
- ・ 令和5年11月20日(月)、橋本俊也・井上邦勝両監事により、令和5年度社会福祉法人西春福祉会 上半期決算及び関連事項について監査を受けた。

2. にしはるひまわり作業所の運営状況

令和5年5月から、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行したため、一部行事を再開するとともに地域で実施された催物に積極的に参加した。新型コロナウイルス感染症は5類に移行後も、感染すれば5日間の欠勤となるため、施設運営には影響が残っている。10名の利用者がグループホームソレイユに入居し、ホームから通所するようになったが、10名とも作業所の生活には影響無く過ごすことができている。

(1) 地域交流事業

新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、状況を確認しながら安全に行える範囲で実施した。

地域で行われた事業に参加し、当作業所の自主製品のクッキー販売をした。

<実施行事及び参加行事>

- ・ 平和夏まつり(7月29日、30日)
- ・ にしはるひまわり作業所バザー(10月22日)
- ・ ボランティアまつり(10月29日)
- ・ 商工祭(11月3日)
- ・ アザレア映画会(2月17日)
- ・ ランフェスタ(3月3日)

(2) 施設間交流行事

北名古屋市市内の他の障害者施設と合同事業を実施し、施設間の交流を深めた。

<実施事業>

- ・ 餅つき大会(1月27日)
北名古屋市商工会青年部OB会主催で、にしはるひまわり作業所、セルフしかつ合同で餅つき大会をした。
- ・ 大道芸観覧会(1月19日)
尾張中央ロータリークラブ主催で、にしはるひまわり作業所、セルフしかつ合同で大道芸を観覧した。

(3) 日赤奉仕団共同事業

日赤奉仕団に協力していただき、農作物の収穫等を行った。事業計画にあげていた調理実習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

<実施事業>

- ・ 玉ねぎの収穫 ・ さつまいもの収穫

(4) 施設外研修事業

事業計画にあげていた社会見学は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

<実施事業>

- ・ 買物実習 ヨシヅヤ清洲店(3月8日)
ショッピングセンターに出かけ、店員とのやりとりやお金の使い方の練習をした。

(5) 健康管理事業

利用者の健康状況を把握するために、通所前の検温や健康診断を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策で、手指消毒を行うとともに、空気清浄機の利用や窓の開放をして換気に努めた。

<実施事項>

- ・ 歯科健診(9月7日)
愛知県歯科医師会の協力で歯科検診、歯磨き指導を実施した。

- ・健康診断(9月25日)
(財)名古屋公衆医学研究所集団検診センターに依頼し、施設内で健康診断を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種(6月1日、10月24日)
希望者にワクチンの集団接種をした。
- ・インフルエンザワクチン接種(11月15日)
希望者にワクチンの集団接種をした。
- ・毎月1回、嘱託医による回診を実施した。
- ・毎月1回、看護師による体重測定・血圧測定・検温を実施した。

(6)防災対策事業

有事に備え避難訓練等を実施した。

<実施事項>

- ・消防避難訓練、通報訓練(9月1日、2月28日)
地震により火災が起きたと想定し、訓練を実施した。避難訓練終了後、消火器の使用方法について説明を受け、水消火器を使用し消火訓練も行った。

(7)文化的活動体験事業

季節及び年の節目ごとの行事を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアや保護者への協力は依頼せず、利用者と職員のみで実施した。

<実施項目>

- ・クリスマス会(12月22日)
- ・仕事納め(12月28日)
- ・仕事始め(1月4日)
- ・節分(2月2日)

3. グループホームソレイユの運営状況

グループホームソレイユは予定通り6月に開所した。入居した10名全員がグループホームの利用が初めてで、比較的早くホームの生活に慣れた利用者もいたが、慣れるのに時間を要する利用者もいた。未だに生活リズムが不安定な利用者もいるため、引き続き利用者が安心して暮らすことができるよう丁寧な支援をしていくことが必要な状況である。

(1)共同生活援助事業

食事・入浴・排泄・健康管理等の支援を実施した。季節の行事の飾りつけ等を行い、リビングでアットホームな雰囲気でもらうことができるよう支援した。

(2)防災対策事業

有事に備え避難訓練等を実施した。

<実施事項>

- ・消防避難訓練、通報訓練(3月25日)
地震により火災が起きたと想定し、訓練を実施した。

4. 令和5年度決算の状況

(1) 法人全体及び貸借対照表について

社会福祉法人として地域における公益性を発揮するため、法人・施設の財務管理の側面からいえば、中長期的にわたる事業経営管理が重要視される。そこで、以下の指標で当法人の財務分析をした。

- 自己資本比率

法人の安全性を示す指標で比率が高いほど安定しているといえる。一般的に50%が目安とされている。

当法人の自己資本比率は、78%である。

- 固定比率

法人の長期的な安定性を示す比率。長期に保有する固定資産は、短期的に返済を迫られる資金を充てるのは不都合であり、なるべく自己資本によって調達されるべきで100%を切るのが理想とされている。

高額な固定資産を購入した初期段階は固定比率が上がるが、減価償却を通じて固定比率は下がっていく。

当法人の固定比率は、98%である。

- 流動比率

短期(1年以内)の負債の支払い能力を表す比率。

当法人の流動比率は、768%である。平均値は120~150%であり、当面の負債に対する支払い能力はあるといえる。

(2) 生産活動事業について

令和5年度生産活動事業総収入は、5,853,290円であった。前年度と比較すると43,412円増加した。リサイクル集積場管理業務や電池回収業務の受託事業収入が増えたことが主な要因である。

配分金平均支給額は、一人一か月あたり14,918円であった。前年度と比較すると340円増加した。

各事業ごとに、令和5年度、令和4年度を比較すると次の表のとおりとなる。

生産活動収入比較表(R5・R4)



